科目名	公民Ⅰ Civics Ⅰ			担当教員	河野　通弘		
学年	2年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	16120014	単位区分	履修単位
学習目標	現代の様々な社会現象を政治・経済・法制度の側面から理解できるように努め，個人と国家・社会との関わりについて理解を深めて，社会人として必要な基礎知識を習得する。						
進め方	項目ごとに政治経済の諸システムを理解するために必要な用語，知識の説明をおこなう。知識及び理解を確かめ定着をはかるために適宜演習問題を実施することがある。						

学習内容	学習項目（時間数）	学習到達目標
	1. 政治部門その1（14） (1)政治と権力について (2)近代国家の成立とその展開 (3)ホッブズ、ロック、ルソーの社会契約説 (4)民主政治の基本思想 (5)イギリス議院内閣制とアメリカ大統領制 (6)わが国の三権分立制度、地方自治制度	政治・権力の考え方が説明できる。 近代国家登場の背景，マキャベリやボーダンの政治思想，国家の 3 要素，ホッブズ・ロック・ルソーの社会契約説の思想と論者の差異，イギリス議院内閣制とアメリカ大統領制の差異が説明できる。わが国の国会・内閣・裁判所，戦前戦後の地方制度，行政統制，選挙制度が説明できる。
	[前期中間試験](2)	学習・教育目標：A-1
	2. 政治部門その2（14） (1)憲法の意義 (2)大日本帝国憲法 (3)日本国憲法の制定過程 (4)日本国憲法の諸原理 (5)国民主権 (6)平和主義 (7)基本的人権とその種類	近代憲法の意味，現代憲法の特徴，明治憲法の特徴，ポツダム宣言から日本国憲法の制定過程までが説明できる。日本国憲法の基本理念，国民主権の原理，象徴天皇制，平和主義の原理，個別的自衛権と集団的自衛権の違い，基本的人権の種類と公共の福祉による制約について説明できる。 学習・教育目標：A-1
	前期末試験	
	3. 経済部門その1（ミクロ経済）（14） (1)財と経済(学)の意義 (2)経済主体と経済循環 (3)資本主義経済の発展と経済思想 (4)1930 年代のアメリカ経済 (5)失業者対策と経済学 (6)市場機構と完全自由競争の条件 (7)価格の役割と価格決定のメカニズム	財の稀少性，財の種類，経済活動の意味，経済体制の特徴とその差異が説明できる。 3 つの経済主体と相互の経済循環，企業の種類，資本の意味，資本主義の発展史とその特徴，市場の役割，スミスとケインズの主張とその時代背景，価格機構，需要と供給の法則，資源の最適配分が説明できる。 学習・教育目標：A-1
	[後期中間試験](2)	
	4. 経済部門その2（ミクロ経済学続き）（4） (1)市場の機能 (2)市場機構の限界(市場の失敗) 5. 経済部門その3（マクロ経済学）（10） (1)貨幣と通貨制度 (2)金融政策と日本銀行の役割 (3)財政の諸問題 (4)国民経済と国民所得	市場の役割と負の側面，市場の失敗，企業の独占寡占問題，外部性，公共財の存在，情報の非対称性，所得の合理的分配の失敗などが説明できる。貨幣と通貨の違い，通貨制度の種類，金融政策の意味と種類，国民所得，三面等価の原則，会計と予算，財政の役割，わが国の租税制度，財政問題と財政政策について説明できる。 学習・教育目標：A-1
	後期末試験	
	試験返却(1)	

評価方法	評価は定期試験の得点で決定する。学習項目ごとの全体評価の重みは，前期と後期それぞれ 50 パーセントずつとし，1. 25%、2. 25%、3. 25%、4. と 5. で 25%とする。
履修要件	特になし
関連科目	歴史Ⅰ（1 学年）　→　公民Ⅰ（2 学年）→　公民Ⅱ（3 学年）
教材	教科書：香川勝俊編『教養の政治学・経済学』(学術図書出版社)
備考	単位追認試験は実施する。再試験については，クラス平均点が 70 点を超える場合，しないこともある。